

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

段野 陽輔 (だんの ようすけ) 氏 【地域需要創造型起業・創業】(福岡県)

お客様がご自身の人生についての情報をあらかじめ開示しておき、将来亡くなられた際に関係者が対応しやすいようにしておくビジネスで、「情報預かり・提供」のITサービス、及びコンサルティング・実務者紹介サービスを提供

【事業テーマ】 高齢者向けエンディングノートの作成支援サービスの実施

【設立日】平成25年7月4日 【創業の場所】福岡県福岡市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

TV番組への出演をきっかけに、世代間で支え合う社会を実現していく必要性について痛感しました。

お客様が人生の終末を迎えた際に「生きた証」を残すことの一助となることを志し、ビジネス・スクールにてMBAを取得後、勤務していた大手製造業も退職し、創業を決意しました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

病院、介護施設、葬儀業者、行政、顧客の家族までも対象としたWEBサービスを先ずは立ち上げます(dan.fukuoka.jp)。

続いて、司法書士、弁護士等の士業の方々と連携し、従来とは異なるサービスを提供してまいります。

将来は、市民後見人サービスを設立したいと考えています。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 河上康洋税理士事務所

(支援内容) 創業塾及び月次巡回を通じて、立ち上げ期の事業強化全般

